

2018年度 センター試験 本試験 日本史 A

第1問 紙幣からみる歴史

出題範囲	近代の政治・文化・社会史
難易度	★★★★☆
所要時間	得意：6分　ふつう：8分　苦手：10分
傾向と対策	第1問は、明治から昭和にかけての政治・社会史を中心に出题された。生徒と先生のお札に関する問答から問題をつくり、取っつきやすいように思われるが、ハワイ移民といった細かい知識も要求されている。しかし、大半は教科書の基本的知識で解答可能な問題であるので、取れる問題を確実におさえれば、高得点を取ることが十分期待できる。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句・内容および知識としておさえておきたい内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

A

問1 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

ア **野口英世**^{ひでよ}(1876～1928)が入る。細菌学者である野口は、渡米してロックフェラー研究所員として活躍したのち**黄熱病**^{おうねつ}の研究をしたが、**アフリカで同病に感染し病死した**。ちなみに、**北里柴三郎**(1852～1931)も細菌学者であり、ドイツに留学し破傷風の抗毒素を発見したのち、帰国して**伝染病研究所**の所長となった。

イ **樋口一葉**^{ひぐちいちよう}(1872～96)が入る。**ロマン主義**の運動の影響をうけた樋口は、貧窮した生活の中で、東京の下町に住む女性たちの悲哀を数篇の小説に書いた。特に『**たけくらべ**』や『**にごりえ**』などが有名である。また、誤りの選択肢に含まれる**二葉亭四迷**^{ふたばていしめい}(1864～1909)も小説家であり、**言文一致体**^{げんぶんいっちたい}の『浮雲』を発表した。これに加え、ロシア文学の翻訳などを通して近代文学に多大な影響をあたえた。

以上より、アー野口英世、イー樋口一葉の組み合わせとなる②が正解である。

問2 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

X 誤 **太平洋諸島の領土・権益の相互尊重**、**問題の平和的解決を目指すように定め**、日英同盟の廃棄の理由と

なったのは**四カ国条約**である。これに加え、ワシントン会議では、中国問題に関する**九カ国条約**、主力艦保有量の制限に関する**ワシントン海軍軍縮条約**が結ばれた。よって、この記述は誤りである。

Y 正 明治初期から約20万の日本人がハワイに移民したが、明治後期の日米紳士協約では日本人移民は制限された。よって、この記述は正しい。

以上より、X-誤、Y-正の組み合わせとなる③が正解である。

問3 3 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 森有礼(1847~89)が第1次伊藤内閣(1885~88)の文部大臣になったのは1885年である。翌年の1886年、**学校令を制定して**近代的な教育体系を整備した。一方、フランスの制度に倣い、近代的学校制度を定めた法令である**学制**は学校令が制定されるより前の1872年に公布された。よって、この記述は誤りである。
- ② 誤 キリスト教徒への信仰心から天皇署名のある教育勅語に礼拝せず、世論の攻撃を受け辞職するという不敬事件を起こしたのは内村鑑三(1861~1930)である。新島襄(1843~90)は、米国から岩倉使節団に同行して欧州の教育を視察したのち、1874年に帰国して翌年に同志社英学校を設立した。よって、この記述は誤りである。
- ③ 正 文部省の検査に合格した教科書を使用する検定教科書制度は1886年に始まっていたが、1902年に発生した贈収賄事件をきっかけに、小学校については1903年より文部省著作の国定教科書に統一された(国定教科書制度)。よって、この記述は正しい。
- ④ 誤 1890年に小学校令が改正され、尋常小学校3年間あるいは4年間の義務教育が明確化されたが、日清戦争前(1892年時点)の就学率は、男子70%、女子36%にとどまった。1900年に義務教育期間の授業料が廃止され、就学率は1902年に90%を超えた。よって、この記述は誤りである。

以上より、正解は③である。

B

問4 4 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

- ウ 大蔵卿が入る。日本銀行は、1882年に松方正義大蔵卿(1835~1924)の建議により設立された中央銀行である。
- エ 銀貨が入る。日本銀行は、1885年より銀兌換銀行券の発行を始めた。翌年から政府紙幣の銀兌換を開始し、銀本位制が確立した。

以上より、ア-大蔵卿、イ-銀貨の組み合わせとなる④が正解である。

問5 5 正解は③

難易度 ★★☆☆☆

解説

- X b 江藤新平(1834～74)は、佐賀藩出身の政治家であり、^{せいかん}征韓論争に敗れて下野した。その後、板垣退助(1837～1919)らと民権議院設立建白書を提出したが、郷里である佐賀の不平等士族と結託し佐賀の乱を起こして刑死した。佐賀の乱では、佐賀県庁を襲撃したが、^{としみち}大久保利通(1830～78)らの政府軍に鎮圧された。
- Y c 西郷隆盛(1827～77)は、薩摩藩士であり、下級武士として^{そのんのうじょうい}尊王攘夷運動で活躍した。その後、長州藩の木戸孝允(1833～77)と薩長連合を結び、倒幕の主力を形成した。戊辰戦争では^{ぼしん}参謀として江戸城の無血開城を実現し、新政府では参議となって^{さんぼう}廃藩置県に尽力した。しかし、征韓論により下野したのち、1877年、自身が鹿児島に設立した私学校の生徒らが起こした士族反乱の首領となり、政府軍に敗れて自刃した(西南戦争)。

以上より、X-b、Y-cの組み合わせとなる③が正解である。

問6 6 正解は②

難易度 ★★☆☆☆

解説

- a 正 史料は、1946年に^{しではら}幣原喜重郎内閣(1945～46)が実施した金融緊急措置令についての記述である。よって、この記述は正しい。
- b 誤 前述の解説より、この記述は誤りである。
- c 誤 金融緊急措置令とは、物不足や通貨増発などが原因の猛烈なインフレーションを阻止するため、預金を封鎖してそれまで使用されていた旧円の流通を禁止し、新円の引出しを制限することによって通貨流通量を減らそうとしたものである。よって、この記述は誤りである。
- d 正 前述の解説より、この記述は正しい。

以上より、a・dの組み合わせとなる②が正解である。

(梶山真嗣，瀧拓也，金子智実)

2018年度 センター試験 本試験 日本史 A

第2問 幕末・明治維新期の軍制と医学

出題範囲	近代の政治・文化史
難易度	★★★☆☆
所要時間	得意：4分　ふつう：6分　苦手：10分
傾向と対策	第2問は、幕末から明治にかけての軍制の変遷と西洋医学の発展について問う問題であった。小問数は全4問と少ないので、8問の小問がある第4・5問に時間を割けるようにするためにも、スムーズに解答し終えたい大問である。幕末・明治維新期は政治体制の変化が多く年代を混乱しやすい時期なので、自分で年表を書いてみるなど出来事を整理して覚えておくようにしよう。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句・内容および知識としておさえておきたい内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

問1 7 正解は②

難易度 ★★★☆☆

解説

- ア **政事総裁職** が入る。1862年、島津久光(1817～87)の要求により**文久の改革**とよばれる幕政改革が行われた。そこで**松平慶永**(**春嶽**) (1828～90)が任じられたのが**政事総裁職**で、これまでの**大老**に相当する役職であった。この改革ではほかに、**徳川慶喜**(任 1866～67)が**将軍後見職**に、会津藩主**松平容保**(1835～93)が**京都守護職**に任じられた。**議定**は新政府最初の官職である**三職**(**総裁**・**議定**・**参与**)の1つで、皇族や公卿が任命された。
- イ **廃藩置県**が入る。1871年に行われた**廃藩置県**の中で、各藩の軍隊も解散された。**版籍奉還**がなされたのは**廃藩置県**よりも前の1869年である。版籍奉還で旧大名は**知藩事**に任命され徴税や軍事を請け負ったが、**廃藩置県**により中央から**府知事**・**県令**が派遣されるようになると権力を失った。
- 以上より、アー政事総裁職、イー廃藩置県の組み合わせとなる②が正解である。

問2 8 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 阿部正弘^{まさひろ}(1819～57)は1854年、日米和親条約が締結されたときに老中首座を務めていた。彼の政策の方針は**挙国一致**であり、幕臣や諸大名の意見を広く求めたため、選択肢中にあるように「幕府の独断で日米和親条約を締結した」とはいえない。幕府の独断で締結した条約に当てはまるのは、孝明天皇(位 1846～66)の勅許が得られない中、大老井伊直弼^{い い なおすけ}(1815～60)のもとで締結された**日米修好通商条約**である。
- ② 誤 孝明天皇の妹である和宮^{かずのみや}(1846～77)が嫁いだのは**徳川家茂**(任 1858～66)である(和宮降嫁^{こうか})。皇族が将軍家に嫁ぐかたちとなったこの結婚は、天皇崇拜・外国排除を掲げる**尊攘派**(攘夷派・尊王攘夷論者)による**批判を招いた**。さらに、**公武合体**を掲げて和宮降嫁を主導した老中安藤信正^{のぶまさ}(1819～71)が坂下門外で尊攘派の武士に切りつけられる事件も起きた。
- ③ 誤 井伊直弼が水戸浪士らに暗殺された場所は、江戸城**桜田門外**である。前述のとおり、坂下門外では**桜田門外の変**ののち老中首座となった安藤信正が、攘夷派の浪士に切りつけられる事件が起こった(坂下門外の変)。
- ④ 正 文久の改革後に**尊王攘夷論**が高揚すると、公家の一部と結んだ長州藩が將軍を上洛^{じょうらく}させ、幕府に1863年5月10日を期して攘夷の決行を命じさせた。その日に**長州藩は下関海峡で外国船を砲撃し**、攘夷を実行に移した。

以上より、正解は④である。

問3 9 正解④

難易度 ★★★★★

解説

- I 志賀潔(1870～1957)が**赤痢菌**を発見したのは1897年のことである。志賀は北里柴三郎(1852～1931)が創設した伝染病研究所の所員であった。**明治中期**には、**お雇い外国人**として来日した外国人教授や海外留学を通じて西洋医学を習得した日本人により、医学研究が盛んに行われた。
- II 蘭方医であった緒方洪庵^{おがたこうあん}(1810～63)が**適塾**(**適々斎塾**^{てきじゆく てきてきさいじゆく})を開いたのは1838年、**化政文化期**である。適塾出身の人物には福沢諭吉(1834～1901)や大村益次郎^{ますじろう}(1824～69)などがある。
- III 西洋の学問を日本に取り入れるためお雇い外国人が招かれるようになったのは**明治初期**である。お雇い外国人を通じて西洋医学が本格的に導入されたことで、日本の西洋医学界の先駆けとなる北里柴三郎や志賀潔などの研究者が生まれたことを考えれば、この出来事はIより古いと判断できる。

以上より、古い順に並べるとII(江戸化政期)→III(明治初期)→I(明治中期)の配列となり、正解は④である。

問 4 10 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

- X 正 1872 年布告の徴兵告諭ちようへいこくゆにもとづき、翌年に発布された徴兵令では、士族・平民の区別なく満 20 歳以上の男性から選抜された者が兵役に就くことが規定された。しかし、戸主とその後継ぎ、官吏・学生や代人だいにん料 270 円を納めた者の兵役は免除されたため、実際に徴兵されたのは次男以下の農民が多かった。
- Y 正 1873 年には、徴兵制などによる負担の増加に反対する農民が起こす一揆が多発し、徴兵告諭の中に「血けつ税」という文言があったことから血税一揆とよばれた。これには、学制の施行によって農村の子供の労働力が失われるという農民の不満も反映されていた。また、一定の地価にもとづく徴税を嫌って農民たちが起こす地租改正反対一揆も 1876 年以降急増した。

以上より、X-正、Y-正の組み合わせとなる①が正解である。

(下谷佳楠, 久米光仁, 金子智実)

2018年度 センター試験 本試験 日本史 A

第3問 近世後期から近代における表現・言論活動

出題範囲	近世・近代の社会・文化史
難易度	★★★★☆
所要時間	得意：8分 ふう：10分 苦手：12分
傾向と対策	第3問は、社会・文化の問題が中心となっており、例年に比べ難易度が高い。受験生がおざなりにしがちな分野ではあるが、高得点を目指す受験生には逆にここで差をつけてもらいたい。重箱の隅を突くような問題に関しては正答する必要はないが、基本的な政党や芸術作品、著書などはおさえておこう。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句・内容および知識としておさえておきたい内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

A

問1 11 **正解は②**

難易度 ★★★★★

解説

ア **蛮社の獄**が入る。蛮社の獄は、知識人の勉強会である**尚齒会**に出席した蘭学者グループ**蛮学社中**（蛮社）の**渡辺華山**(1793～1841)・**高野長英**(1804～50)が**モリソン号事件**に際し、それぞれ『**慎機論**』、『**戊戌夢物語**』を著し、**幕府の異国船打払令を批判したとして処罰された洋学者弾圧事件**である。一方、**安政の大獄**は、おもに**井伊直弼**(1815～60)の専制に反対する親藩、外様大名らを処断した政治弾圧であり、**吉田松陰**(1830～59)や**橋本佐内**(1834～59)らが刑死した。

イ **横山源之助**(1871～1915)が入る。横山は、新聞記者となり、東京・阪神などの各地での社会探訪・労働事情調査を『**日本之下層社会**』にまとめた。また、1900年には『**職工事情**』調査にも参加した。一方、**片山潜**(1859～1933)は、労働運動・社会主義の指導者である。渡米したのちキリスト教徒として帰国し、伝道や労働運動に尽力した。**労働組合期成会**・**社会民主党**・**日本社会党**結成にも参画し、日本社会党では**幸徳秋水**(1871～1911)らの無政府主義と対立した。のちに共産主義に転じ、革命後のロシアで**日本共産党**の結成を指導した。

以上より、アー蛮社の獄、イー横山源之助の組み合わせとなる②が正解である。

問2 12 正解は⑤

難易度 ★★★★★

解説

- I 尾崎行雄(1858～1954)が男子普通選挙実現運動の先頭に立ち、**革新倶楽部**に参加したのは、普選論をめぐる対立で**第一次世界大戦後に憲政会から脱党したのち**である。また、普選要求が高揚したのは、ⅢとⅡの間であることから判断できるだろう。
- II 尾崎は**1942年**に**翼賛選挙**を批判し不敬罪に問われたが、無罪となった。
- III 尾崎は**明治十四年の政変ののち**、**立憲改進黨**に参加した。

以上より、古い順からⅢ（立憲改進黨参加）→Ⅰ（革新倶楽部参加）→Ⅱ（翼賛選挙）の配列となる⑤が正解である。

問3 13 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 **ノルマントン号事件**は、1886年、横浜から神戸へ向かう英貨物船ノルマントン号が紀伊半島沖で難破した際、英人船長ら乗組員は脱出し、日本人船客25名は全員溺死した事件である。英神戸領事の海難審判で船長は無罪となり国民は憤激した。再度、横浜判事による刑事裁判では有罪となり、禁錮3カ月に処されたが、無賠償であった。この結果から、**国民は法権回復の必要性を痛感させられ、条約改正を求める世論が高まった**。よって、この記述は誤りである。
- ② 誤 **北京議定書**とは、**1901年**に調印された清国政府と**北清事変**参戦国など11カ国間の協約である。多額の賠償金と各国護衛兵の北京公使館区域駐留などを承認した。**調印に際して大規模な民衆の騒擾は起こらなかった**。調印の際に大規模な民衆の騒擾が起こったのは、**ポーツマス条約**調印時である。ポーツマス条約では賠償金が得られなかったため、**日比谷焼打ち事件**が起こった。よって、この記述は誤りである。
- ③ 正 **治安警察法**は、1900年に第2次山県有朋内閣(1898～1900)によって公布されたものであり、台頭してきた社会主義・労働運動・農民運動を抑える目的で、**労働者の団結権・争議行為の禁止、女性・未成年者の政談集会参加禁止**など、警察権の強化が図られた。よって、この記述は正しい。
- ④ 誤 **日本農民組合**は、1922年に**杉山元治郎**(1885～1964)・**賀川豊彦**(1888～1960)らが中心となり設立した、各地の小作人組織の統一、小作人の地位向上を目指す、日本最初の全国的農民組織である。よって、この記述は内容的には正しいが、時期が1900年前後とは異なるので誤りである。

以上より、正解は③である。

B

問4 14 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

- X a 日米修好通商条約では、日米和親条約によって開港された下田・函館に加え、神奈川（のち横浜に変更、下田は閉鎖）・長崎・新潟・兵庫（現在の神戸）の開港が求められた。そのほかには、江戸・大坂の開市、領事裁判権の設定、自由貿易の承認、協定関税、公使の江戸駐在と領事の開港地駐在などが規定された。
- Y c 日本最初の日刊新聞は、神奈川県令の尽力で1870年に発刊した『横浜毎日新聞』である。『万朝報』は1892年、黒岩涙香(1862～1920)により東京で創刊され、日露開戦前には幸徳秋水・堺利彦(1870～1933)・内村鑑三(1861～1930)らの記者が非戦の論陣をはった。なお、同紙が日露開戦是認に転じた1903年にこの3人は退社している。

以上より、X-a, Y-cの組み合わせとなる①が正解である。

問5 15 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

- a 誤 史料には、「山東」、「ドイツから奪った膠州の租借地」などのワードが含まれていることから、この史料は1915年に第2次大隈重信内閣(1914～16)が中国における利権拡大のため、袁世凱(1859～1916)政府に突きつけた二十一カ条の要求を批判した文章であるとわかる。よって、この記述は誤りである。
- b 正 前述の解説より、この記述は正しい。
- c 誤 史料中の「中国と西洋諸国の権利を無視して、……中国に対する管理を確固たるものにしようとする日本の意図を示している」より、日本の政策を歓迎しておらず、警戒しているといえる。よって、この記述は誤りである。
- d 正 前述の解説より、この記述は正しい。

以上より、b・dの組み合わせとなる④が正解である。

問6 16 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 手塚治虫(1928～89)原作の漫画『鉄腕アトム』(アニメ第1作)がフジテレビ系列にて放送されたのは、1963年から1966年までである。一方、漫画は1952年から1968年にかけて少年漫画雑誌に連載された。よって、この記述は誤りである。
- ② 正 1956年、年次経済報告書である経済白書に「もはや戦後ではない」と記された。当時の日本は戦後復興の時期であり、日本経済は、朝鮮特需の影響もあり、戦前水準に向かって順調に回復していった。よって、

この記述は正しい。

- ③ 誤 ^{おうがい}森鷗外(1862～1922)は、『舞姫』などのロマン的作品で登場したが、生没年を考慮すると、1950年代という条件に該当しないので、この記述は誤りである。
- ④ 誤 ^{ばんこくはくらん}日本万国博覧会が大阪で開催されたのは1970年であるので、この記述は誤りである。

以上より、正解は③である。

(梶山真嗣, 瀧拓也, 帆玉光輝)

2018年度 センター試験 本試験 日本史 A

第4問 石橋湛山を通して見る日本の20世紀

出題範囲	近代～現代の政治・外交・文化史
難易度	★★☆☆☆
所要時間	得意：6分　ふつう：8分　苦手：10分
傾向と対策	第4問は、石橋湛山についてのリード文から、近現代史、特に20世紀史が幅広く問われた。難易度は全体的に標準的であり、日頃の学習が十分に活かせる問題群であった。近年のセンターの傾向からみて、特に戦後史は差が付きやすい分野であるといえる。時系列や年号に注意しながら、系統的に知識を身に付けていこう。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句・内容および知識としておさえておきたい内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

A

問1 17 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

ア **吉野作造**^{さくぞう}(1878～1933)が入る。吉野作造は**民本主義**^{みんぽん}を唱えた。民本主義とは、天皇主権を定めた明治憲法の枠内で民主主義を実現しようとする思想のことである。^{かわかみはじめ}河上肇(1879～1946)は**マルクス主義**の影響を受けて、『貧乏物語』を著した人物である。

イ **中央公論**が入る。『中央公論』は明治後期に創刊され、大正デモクラシーを語る中心ともなった**総合雑誌**である。『明六雑誌』は明治初期に創刊された**明六社**の機関紙であり、近代思想の紹介と宣伝がなされた。

以上より、アー吉野作造、イー中央公論の組み合わせとなる①が正解である。

問2 18 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

X **b** 平塚らいてう(1886～1971)や市川房枝^{ふさえ}(1893～1981)が、女性地位の向上を目指し**1920年**に設立したのは**新婦人協会**である。女性の政治参加を求めて、**治安警察法**第5条改正運動を行った。**赤瀾会**^{せきらん}は山川菊栄(1890～1980)らによって1921年に結成された女性社会主義者の集団である。

Y c 1911年に公布され、女性・年少者の深夜業禁止や就業時間制限などを定めたのは**工場法**である。商法はロエスレル(1834～94)が起草し、1890年に公布された法典である。

以上より、X-b, Y-cの組み合わせとなる③が正解である。

問3 19 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

- ① 正 1919年、民族自決の風潮の高まりを受けて、**朝鮮全土で日本からの独立を求める運動**(**三・一独立運動**)が発生した。
- ② 誤 韓国の民族運動家**安重根**(1879～1910)によって、伊藤博文(1841～1909)が殺害されたのは**1909年**である。よって、これは**第一次世界大戦以前**の話である。
- ③ 誤 1926年に始まった**北伐**は**毛沢東**(1893～1976)ではなく、**蔣介石**(1887～1975)の指導のもとに行われた。
- ④ 誤 **第1次国共合作**は、第一次世界大戦後、反帝国主義の方針を国民党が明確にしたことや、コミンテルンの提案などを背景に実現した中国国民党と中国共産党の連携である。1936年の**西安事件**をきっかけに実現したのは、**第2次国共合作**である。

以上より、正解は①である。

B

問4 20 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

- I 1938年、東京帝国大学の教授であった河合栄治郎(1891～1944)は『ファシズム批判』をはじめとする著書が発禁処分とされ、翌年の**1939年**に休職処分となった。
- II 日本初の社会主義政党である**社会民主党**が結成されたのは**1901年**である。その中心メンバーには**安倍磯雄**(1865～1949)や幸徳**秋水**(1871～1911)らがいたが、結成の2日後に結社禁止となった。
- III 第1回男子普通選挙で無産政党から8名の当選者が出たことで、**田中義一内閣**(1927～29)が共産党員の**一斉検挙**を行ったのは**1928年**である。これを**三・一五事件**といい、その翌年にも一斉検挙が行われた(**四・一六事件**)。

以上より、古い順からII(1901年)→III(1928年)→I(1939年)の配列となる④が正解である。

問5 21 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

- ① 正 1942年に設置された日本文学報国会は、戦争美化や国策の宣伝を目的とした官製機関である。多くの小説家が戦争協力のために動員された。
- ② 正 石川達三(1905～85)は中国戦線における日本兵を描いた『生きてゐる兵隊』を執筆したが、日本軍の残虐行為の描写が含まれていたために発売禁止となった。
- ③ 誤 文化財保護法の制定は、本土空襲ではなく1949年の法隆寺金堂壁画焼損がきっかけである。
- ④ 正 黒澤(黒沢)明(1910～98)の映画『羅生門』は、戦後の1951年にベネチア国際映画祭金獅子賞を受賞した。

以上より、正解は③である。

問6 22 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

- X 正 大正政変後に成立した第1次山本権兵衛内閣(1913～14)は、政党の影響力拡大を意図し、軍部大臣現役武官制の現役規定を削除した。
- Y 誤 軍部大臣現役武官制が復活したのは、五・一五事件直後に成立した斎藤実内閣(1932～34)においてではなく、二・二六事件直後に成立した広田弘毅内閣(1936～37)においてである。

以上より、X-正、Y-誤の組み合わせとなる②が正解である。

C

問7 23 正解は③

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 日本民主党と自由党が合流して自由民主党が結成され(保守合同)、その初代総裁に選出されたのは鳩山一郎(1883～1959)である。
- ② 誤 日本社会党・民主党・国民協同党の連立政権の首相となったのは片山哲(1887～1978)である。日本社会党を中心とした連立政権の首相となった人物として村山富市(1924～)もいることを覚えておこう。村山富市内閣(1994～96)は日本社会党・自由民主党・新党さきがけの連立内閣である。
- ③ 正 一部の国家のみと平和条約を締結することもやむを得ないとする単独講和論を主張した吉田茂は中国・ソ連を含む全連合と締結するべきとする全面講和論をしりぞけ、1951年、サンフランシスコ平和条約を締結した。

- ④ 誤 連合軍の本土進駐を受け入れ、降伏文書に調印したのは ^{ひがしくにのみやなるひこ}東久邇宮稔彦(1887～1990)である。
以上より、正解は③である。

問 8 24 正解は①

難易度 ★★☆☆☆

解説

- a 正 史料 5 行目「～とするような態度が、はたして健康な外交であろうか」や史料 7 行目「その日中戦争を終息せしむることこそ戦争終結のための最大の課題ではないか」という記述から、石橋は日本政府の外交姿勢を批難していることがわかる。
- b 誤 前述のように、石橋は政府の外交姿勢を批難していたので、高く評価しているとはいえない。
- c 正 1952 年、日本と台湾の中華民国国民政府の間で平和条約（日華平和条約）が結ばれた。この文章が書かれたのは 1960 年であるので、正しい。
- d 誤 日本と中華人民共和国の国交正常化が果たされたのは 1972 年の日中共同声明による。1960 年当時、日本と中華人民共和国の間で平和条約は結ばれていない。

以上より、a・c の組み合わせとなる①が正解である。

(浦地智暉, 久米光仁, 金子智実)

2018年度 センター試験 本試験 日本史 A

第5問 近現代日本の流通業

出題範囲	近現代の政治・社会・文化史
難易度	★★★★☆
所要時間	得意：6分　ふつう：8分　苦手：10分
傾向と対策	第5問は近現代の政治史を中心として、幅広い分野を問う出題がなされた。全体的にやややさしい問題が多く、特に資料の読み取り問題についてはまったくひねりのないものであったため、取りこぼしのないように確実に正解したい。一方で、問8のように受験生がほとんど注意して学習しないような分野の問題もみられた。このような問題に対しては、普段の学習に加えて、教養・雑学を身に着けるために、さまざまな情報に対して関心をもつ姿勢が重要である。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句・内容および知識としておさえておきたい内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

A

問1 25 **正解は②**

難易度 ★★★★★

解説

- I 斎藤実内閣(1932～34)によって農山漁村経済更生運動が実施されたのは **1932年** のことである。この運動が、**昭和恐慌の中で発生した農業恐慌に対する政策である**ことから時期を判断したい。
- II 農業基本法は池田勇人内閣(1960～64)時の **1961年** に制定された。**高度経済成長期**に農業部門で農薬や農業用機械などさまざまな発展がみられた中で、農業の構造改革と近代化を企図して制定された法律であることを想起したい。
- III 農地改革は **GHQの指令にもとづいて戦後まもなくの**1945年より行われた。第一次農地改革はGHQにより不徹底とされたが、第二次農地改革が終了する **1950年**までに全国で寄生地主制が完全に解体した。
- 以上より、古い順から I (昭和恐慌期) → III (占領期) → II (高度経済成長期) の配列となる **②** が正解である。

問2 26 正解は①

難易度 ★★☆☆☆

解説

- ① 正 土佐藩の郷土出身である岩崎弥太郎(1834～85)は、三菱財閥の端緒となる三菱汽船^{きせん}会社を興し、当初海運業を中心に経営を行った。よって、この記述は正しい。
- ② 誤 1906年に第1次西園寺公望内閣(1906～08)の出した鉄道国有法により、国内の主要鉄道が国有化されたが、これは日露戦争後のことである。よって、この記述は誤りである。
- ③ 誤 第一次世界大戦時には世界的に船舶が不足し、大きな需要が生まれた。日本の海運業・造船業はこれに乗じて実績を伸ばし、空前の活況を呈した。よって、この記述は誤りである。
- ④ 誤 日本で最初的高速道路である名神^{めいしん}高速道路が開通したのは、高度経済成長期の1965年であり、日中戦争開始後とは大きく時期が異なる。よって、この記述は誤りである。

以上より、正解は①である。

問3 27 正解は④

難易度 ★★☆☆☆

解説

- ① 正 1918年の米騒動が起きた要因は、シベリア出兵を当て込んだ米の投機的買い占めや売り惜しみのために米価が急騰したことである。よって、この記述は正しい。
- ② 正 米騒動は、1918年8月に富山県の漁村の主婦たちが蜂起したことを契機として全国に広がった。よって、この記述は正しい。
- ③ 正 全国に広まった米騒動は、1道3府35県で約70万人を巻き込む大規模な暴動となったため、政府は軍隊を出動させることで事態の鎮静化を図った。よって、この記述は正しい。
- ④ 誤 米騒動の責任をとって総辞職したのは寺内正毅^{てらうちまさたけ}内閣(1916～18)であり、このあとに成立したのが原敬内閣(1918～21)である。よって、この記述は誤りである。

以上より、正解は④である。

B

問4 28 正解は①

難易度 ★★☆☆☆

解説

- ア 価格等統制令が入る。価格統制令は、1939年に国家総動員法にもとづいて出された勅令であり、これにより値上げを禁止する公定価格制が導入されることとなった。
- イ 労働基準法が入る。敗戦後の1947年に労働基準法が制定され、8時間労働制や女子・年少者の深夜就業禁

止といった労働条件の最低基準が示された。

以上より、アー価格等統制令、イー労働基準法の組み合わせとなる①が正解である。

問5 29 正解は④

難易度 ★★☆☆☆

解説

- a 誤 大日本帝国憲法については、植木枝盛(1857～92)の「東洋大日本国憲法」や千葉卓三郎(1852～83)による「五日市憲法草案」などの私擬憲法が作成されたが、これらはいずれも採用されなかった。よって、この記述は誤りである。
- b 正 大日本帝国憲法において、天皇は神聖不可侵とされたうえに、統治権の一切を握る総攬者であるとされ、きわめて強い権限があたえられていた。よって、この記述は正しい。
- c 誤 1945年10月に設置された憲法問題調査委員会は、改正試案を作成してGHQに提出したものの、同案は天皇に統治権を認める保守的な内容であったために拒否された。よって、この記述は誤りである。
- d 正 日本国憲法の第41条において、国会は「国権の最高機関であって、国の唯一の立法機関である」と規定されている。よって、この記述は正しい。

以上より、b・dの組み合わせとなる④が正解である。

C

問6 30 正解は②

難易度 ★★☆☆☆

解説

- X 正 あたえられた表によると、1964年においてスーパーからの購入が7.7%、百貨店からの購入が9.0%であるのに対し、1969年にはスーパーからの購入が12.1%、百貨店からの購入が8.5%となっており、「スーパーからの購入」の購入費が「百貨店からの購入」の構成比を初めて上回っていることがわかる。よって、この記述は正しい。
- Y 誤 1964年から1984年にかけて「スーパーからの購入」の構成比が上昇し続けるにつれて、「一般小売店からの購入」の構成比は下降の一途をたどっているのに対し、「百貨店からの購入」の構成比は10%前後でほとんど変動がないため、この記述は誤りである。

以上より、Xー正、Yー誤の組み合わせとなる②が正解である。

問7 31 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

- ① 誤 破壊活動防止法が制定されたのは吉田^{しげる}茂内閣(1948～54)のときである。よって、この記述は誤りである。
- ② 誤 経済協力開発機構(OECD)への加盟は、池田^{はやと}勇人内閣(1960～64)のときに日本経済を拡大するための政策の一環として行われた。よって、この記述は誤りである。
- ③ 誤 沖縄の日本復帰が実現したのは1972年のことで、この時の内閣は佐藤^{えいさく}栄作内閣(1964～72)である。よって、この記述は誤りである。
- ④ 正 中曽根康弘内閣(1982～87)は「戦後政治の総決算」を掲げ、専売^{せんばい}公社・国鉄に加えて日本電信電話公社(電電公社)の民営化を実施するなど、さまざまな改革を推進した。その際、民営化された日本電信電話公社はNTTと改名した。よって、この記述は正しい。

以上より、正解は④である。

問8 32 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

- ① 正 運動会は、明治時代に集団訓練を推進する目的で行われるようになった。ただし、この知識はやや細かいので、ほかの選択肢からの消去法で選ぶというのが現実的であろう。
- ② 誤 全国中等学校(優勝)野球大会が始まったのは1915年で、日中戦争とは時期が異なる。この知識もかなり細かいものであるが、1925年の始まったラジオ放送で、全国中等学校(優勝)野球大会や東京六大学野球が人気を博したとの記述があることから、少なくとも日中戦争期の出来事ではないことがわかる。なお、使用球場が現在の甲子園球場になったのは1924年のことである。よって、この記述は誤りである。
- ③ 誤 日本人選手が初めてオリンピックに参加したのは、1912年のストックホルム大会である。これは太平洋戦争以前の出来事であるため、この記述は誤りである。
- ④ 誤 プロ野球は戦後まもなくの1945年から再開されており、当然ながらこの時期の日本はGHQの占領下に置かれていた。

以上より、正解は①である。

(瀧拓也, 金子智実, 帆玉光輝)